



しゃぼん玉とんだ

1・2年生が、合同で生活科の学習「しゃぼん玉遊び」をしていました。

今日は、風も穏やかでしゃぼん玉日和でした。

子どもたちは、ストローの先に魔法のしゃぼん玉液をつけ、そうつと息を吹きます。始めは、息の強さの調節がなかなか上手くできません。強すぎて、玉ができかけたと思ったらパ

チッと割れたり、弱すぎてふくらまなかったり・・・

それでも、子どもたちはあきらめずに何度も何度も試行錯誤を繰り返して、やっとコツをつかんでいきました。すると、きれいなしゃぼん玉がいくつもいくつも空に向かって飛んで行きました。

それを見た子どもたちは、大喜び。飛び跳ねたり、歓声をあげたりしてその喜びを体中で表現していました。

しゃぼん玉を追いかけて走っていく子
掌にそつとしゃぼん玉を乗せようとする子
空高くとんで消えていくのを見つめる子

できたしゃぼん玉を指でついてはじけるのを楽しむ子
次は、針金ハンガーを加工した輪を使って、大きなしゃぼん玉作りに挑戦です。たっぷり魔法のしゃぼん玉液をつけると、さあ挑戦!

「わあ～校長先生見て見て、顔より大きなのができたよ。」

「どれどれ、本当だ。すごいね。校長先生の顔が二つも三つも入りそうだね。」

「素敵だね。校長先生にも作り方を教えてくれる。」と言うと、すぐに何人もの子どもたちが我先にと教えに来てくれました。「液をつけたら、そうつと横に手を動かすんだよ。」

教えてもらった通りにするのですが、一回目二回目と失敗です。三回目にやっと成功!

すると、見ていた子どもたちがみんないっぱい拍手してくれました。校長先生も大喜び・・・

あちこちで大きな虹色に輝くしゃぼん玉が空に向かって飛んでいました。子どもたちの「キャーキャー」と嬉しそうに喜ぶ声と無邪気な笑顔がいっぱいでした。

しゃぼん玉遊びをする時の子どもの笑顔は、今も昔も少しも変わりません。

夢いっぱいのしゃぼん玉と虹色に輝く天使のような子どもたちの笑顔に、癒されたひと時でした。



風、風、吹くな しゃぼん玉飛ばそ	こわられて消えた	産まれて消えた	飛ばずに消えた	しゃぼん玉消えた	こわられて消えた	屋根まで飛んで	しゃぼん玉飛んだ	野口雨情 作詞	しゃぼん玉
						屋根まで飛んで	しゃぼん玉飛んだ	中山晋平 作曲	